



—東北生産性本部—

第155回理事会を開催



6月4日(火)仙台商工会議所会館4階小会議室に於いて、理事43名中、本人出席(代理を含む)14名、委任出席24名、監事2名中、1名の出席の中で第155回理事会を開催しました。

会議の冒頭の齋藤会長挨拶の中で、理事・監事の皆さまのご協力により、24年度決算が当初の約630万円の赤字から約330万円の赤字へと300万円程度の改善が図られる見通しであることからこれまでの支援に対する感謝の意を表するとともに、25年度予算(案)も赤字体質には変わりがないことから、今後の更なるご協力ならびにご支援を呼びかけました。

上記の他24年度の事業の特徴点としては、20団体の賛助会員が加入したこと、新年労使交流会ではトヨタ自動車の林技監の講演を企画し、例年の2倍の参加者を得たこと、仙台シンポジウムを中心に新聞掲載がなされ知名度アップが図られたことなどを報告しました。

25年度の特徴点としては、借入金の返済が終了見込みであること、アベノミクスの成長戦略の中ではグローバル化の競争環境下では生産性をどう高めていくかがポイントであり、当本部の事業としては「知識から知恵へ」と質を高めていきたいとの決意を述べました。

宮城県仙台市青葉区本町二丁目六番十二号 <http://www.t-productivity-ce.jp> HP 掲載中
本理事会での審議内容は下記の通りであります。(要旨のみ記載)

1. 第1号議案『平成24年度事業報告について』及び第2号議案『平成24年度決算報告について』山岸専務理事より提案説明し、審議の結果、提案通り満場一致で承認されました。

◆平成24年度収支決算:当初予算▲6,288千円⇒▲3,290千円

2. 第3号議案『平成25年度事業計画(案)について』及び第4号議案『平成25年度収支予算(案)について』山岸専務理事より、提案説明し、審議の結果、提案通り満場一致で承認されました。

◆平成25年度収支決算(案) ▲414千円

3. 第5号議案『役員の改選について』齋藤会長より副会長・専務理事・常務理事・顧問・参与については本日の理事会で承認をいただくこと。理事等については会長がこれを委嘱することになっており、総会後に理事等が異動等で変更になった場合は書面にて報告するものとして、総会後の役員改選に関する理事会を省略することについて提案説明し、審議の結果、提案通り満場一致で承認されました。

4. 第6号議案『賛助会員の動向について』山岸専務理事より、提案説明し、審議の結果、提案通り満場一致で承認されました。

◆入会20団体、退会1団体、休会1団体

5. 第7号議案『その他』の「第36回仙台シンポジウム」「東北経営品質フォーラム」「労使定例政策研究会及び労使セミナー」「第154回全国IE年次大会」「第58回軽井沢トップ・マネジメント・セミナー」「総会後の特別講演会」について山岸専務理事より提案説明し、審議の結果、提案通り満場一致で承認されました。

第一義 ～成長戦略第3弾 実効性を期待したい～

安部政権の成長戦略素案が示されました。小職としては競争原理に偏った市場主義のみではなく、新たな需要創出が大切だと思います。そして経済成長が雇用の拡大や賃金上昇といった形で社会全体に還元される仕組みづくり、つまり生活者の利益や公共性の維持・発展を常に念頭におきながら実効ある政策を展開してもらいたと考えております。長引くデフレに疲れている日本経済。経済成長への国民の期待は大きいものがあります。7月の参議院選挙は自民党の圧勝と言われております。この選挙が終ると3年間国政選挙は無い可能性があります。安定政権になるととかく政権維持に走る可能性もありますが、是非政策の実効性を高める政権であってほしいと思っております。また、経済再生とともに教育再生も後世に繋がる政策であることも忘れないでいただきたい。(記S・Y)